

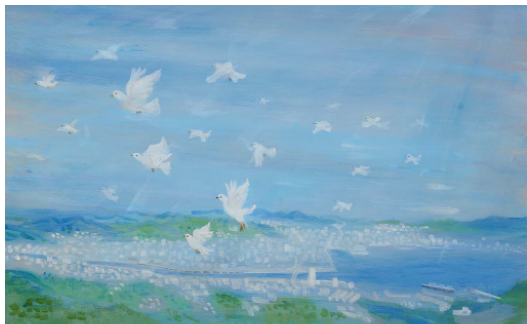


小山薫堂氏が”日本語”を記し、小池アミイゴ氏が”絵画”を描く 「旅」と「日本語」がテーマのアートギャラリー 「旅する日本語展 2019」を羽田空港にて開催！

日本空港ビルディング株式会社は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される 2020 年に向け、「旅」と「日本語」をテーマにしたアート展「旅する日本語展」を開催します。「旅する日本語展」は羽田空港から飛び立つ人々の旅に旅情を添え、より豊かな旅を楽しんでいただきたく、2016 年から開催しており、今回の「旅する日本語展 2019」で 4 年目を迎えました。

今年度は 2018 年に続き、小山薫堂氏とイラストレーター・小池アミイゴ氏がコラボレーションして作品を制作しました。耳慣れないながらも美しい”日本語”を小山薫堂氏が選び、旅にまつわる物語を執筆。物語を基に小池アミイゴ氏が色鮮やかに旅の情景を描き、旅情あふれるオリジナルアート作品として展示します。

「旅する日本語展」の全 11 作品を羽田空港第 1 ターミナル 2 階出発ロビー上部の大型看板スペースに展示し、出発ロビーにて旅立ちの時を目前に控えるかたがたに向け、旅と日本語の魅力をアート作品を通じて発信します。

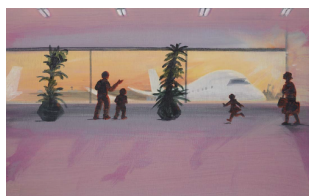


途立つ
文・小山薫堂
画・小池アミイゴ
辛いことや悲しいことがあると
わたしはなぜか、空港に足が向く。
出発時には、夢に向かう希望があつて
到着時には、あまりの優しさが溢れている。
そう、ここにはなくさんの愛がある。
だから、愛が足りないと感じたら
わたしは自然とここに来てしまうのだ。
空港は、新しい明日へ向かう場所。
空港は、元気の途立つ場所。

展示作品例



展示写真



心安
文・小山薫堂
画・小池アミイゴ
今日の旅の目的地は東京だ。
そう、あふれるほどの愛で、東京へ。
とて優しい時間だ。そして、ここへ。
白花畑のふれあい。そして、ここへ。
今は旅の途中。そして、ここへ。
この瞬間を、そして、ここへ。
わたしたちの旅。そして、ここへ。
心安。

展示作品例

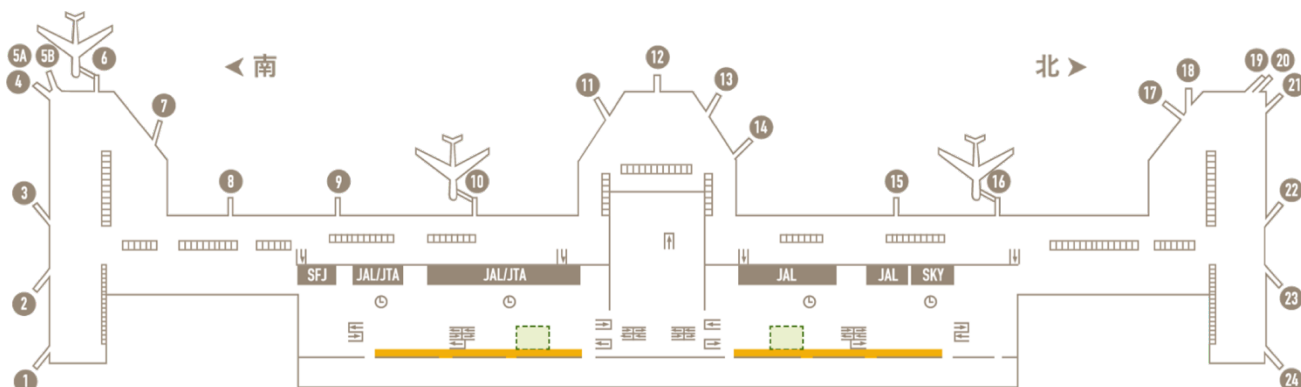
■展示場所：羽田空港第 1 ターミナル 2 階出発ロビー

■展示期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

■「旅する日本語」公式 WEB サイト URL：<https://event.tokyo-airport-bldg.co.jp/tabisuru/>

■展示位置：羽田空港第1ターミナル2階出発ロビー

「旅する日本語展」作品展示位置



■作品関係者



Photo by Katsumi Minamoto

文： 小山薫堂

放送作家・脚本家

1964年6月23日熊本県天草市生まれ。

「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」等、斬新なテレビ番組を数多く企画。初脚本となる「おくりびと」では、第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞獲得をはじめ、国内外で高い評価を受けた。執筆活動の他、下鴨茶寮主人、京都造形芸術大学副学長を務める。

くまモンの生みの親でもある。



絵： 小池アミイゴ

イラストレーター

1962年群馬県生まれ。

長澤節主催のセツモードセミナーで絵と生き方を学ぶ。1988年よりフリーのイラストレーターとして活動。併せて音楽家や地方発信のムーブメントをサポート、展覧会や音楽イベント、ワークショップ開催を重ねる。2011年3月11日以降日本各地を巡り個展「東日本」に結実。絵本「とうだい」(作:齊藤倫、福音館書店)作画担当。

東京イラストレーターズソサエティ理事長。